

中期経営計画 2011 事業等評価における主要施策と取組の考え方

A委員からいただきました御質問は以下のとおりです。

- ①「施策の成果」と「今後の進め方」がともに主要施策で括られていますが、個別の取組の評価との関係が分かりにくいとの印象を受けました。たとえば、「人材の育成と確保」では、①②ともに「達成状況」がaで、「成果」がb、「今後の進め方」がaとなっています。この点のご説明（判断基準の考え方）をお願いします。
- ②「施策の成果」と「今後の進め方」がともに主要施策で括られていますが、個別の取組ごとにそれら进行评估する必要は生じないのでしょうか。

質問の主旨といたしまして、①は主要施策と各取組の関係性が不明瞭ということ、②については個別の取組ごとに評価した方がよいのではないかということと捉え、以下のとおり考え方を整理いたしました。

考え方

中期経営計画 2011（以下「中経 2011」）と前中経の体系と評価単位には下表のような相違があります。

表 中経 2011 と前中経における体系と評価単位

	中経 2011	前中経
体系	基本目標 (5)	基本目標 (4)
	主要施策 (10)	主要施策 (14)
	主な取組 (30)	重点推進事業 (52)

※ ……評価単位

中経 2011 では、5 つの基本目標の達成に向けて目的（10 施策）と手段（30 取組）を明確にし、より高い視点で進行管理ができるよう、評価単位を取組レベルにとどまらず上位の施策単位に変更しております。これは、各取組の進捗だけではなく、取組を通じて得られる施策成果をきちんと検証しておくことがその後の改善や見直しにつながる（PDCA サイクル機能の発揮）という考え方に基づいています。

①の回答について

3つの評価が a（取組）→ b（施策）→ a（進め方）となってしまうようなケースでは、主要施策と各取組の関係性が不明瞭に見えます。これは、指標・目標の設定に問題があるためと考えております。施策の指標・目標と取組の指標・目標の関連性が弱い場合や、関連性はあっても施策の目標の値の設定がよくない（甘い・厳しい）場合が挙げられます。

このような場合については各評価の因果関係などを説明・分析欄にできるだけ具体的に記述していくように努めるとともに、さらに適切な指標・目標の改善に努めて参りたいと考えております。

②の回答について

上記「考え方」に即し、「施策の成果」と「今後の進め方」については取組単位ではなく施策単位で評価することとしています。